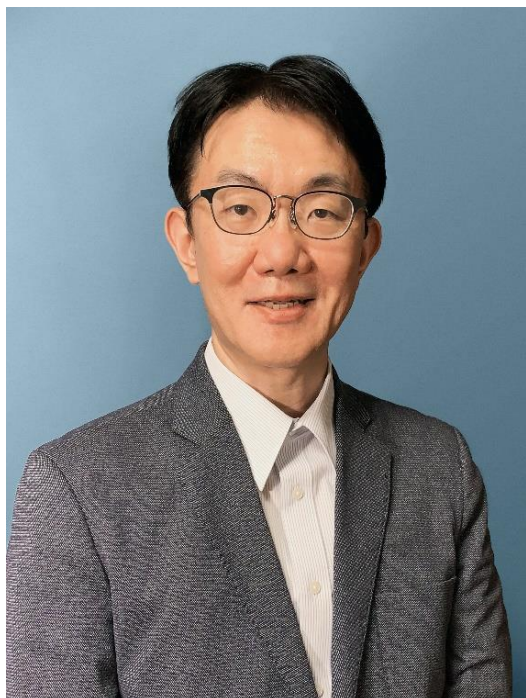


文字・活字文化の日記念講演

万葉集のことば 現代のことば



令和元年

10月26日 (土)

14:00 ~ 16:00

神奈川県立図書館

新館4階 セミナールーム

無料
定員50名
申込多数の
場合は抽選

講師

飯間 浩明 氏

(国語辞典編纂者・日本語学者)

講演後、著作販売とサイン会があります

申込期間

令和元年9月3日 (火)

~10月9日 (水) 必着

申込方法

メールまたは往復ハガキ (1通1名の申込)

①講座名 ②住所 ③氏名 (ふりがな)

④電話番号

を明記のうえ、いずれかの方法により
お申込みください。

締切後に、お申込み頂いた方法で受講の
可否を返信いたします。

申込宛先

神奈川県立図書館 図書課

メール

図書館ホームページ内の
フォームメールから受け付けいたします。

往復はがき

〒220-8585 住所省略可
横浜市 西区 紅葉ヶ丘 9-2

お問合せ

045-263-5921 (図書課直通)

時代や場所が変われば、ことばも大きく
変わります。万葉集の時代、色を表す
形容詞は「白し、黒し、青し、(赤
し)」しかありませんでした。「黄色い」
「茶色い」ができたのはずっと後のこと
です。ことばの変化について知れば知るほ
ど、現代語で「『まぬかれる』か『まぬが
れる』か、どちらが正しいか」という問
題は小さなことだと思ようになります。
ことばの変化についての理解を深めつつ、
ことばの正しさとは何かについても考えて
いきます。

講師：飯間 浩明 氏（国語辞典編纂者・日本語学者）

1967年、香川県高松市に生まれる。国語辞典編纂者・日本語学者。早稲田大学第一文学部卒業、同大学院博士課程単位取得。2005年『三省堂国語辞典』の編集委員就任、第6版（2008年）以降の編纂に関わる。国語辞典編纂のために、さまざまなメディアや、日常生活の中などから現代語の用例を採集する。2018年にNHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」に出演。



主な著作：『つまずきやすい日本語』（NHK出版）、『国語辞典のゆくえ』（同）、『ことばハンター』（ポプラ社・児童書）、『小説の言葉尻をとらえてみた』（光文社新書）など。

文字・活字文化の日とは

2005年に制定された文字・活字文化振興法により、**10月27日**は文字・活字文化の日と定められました。活字離れに歯止めをかけ、文字・活字文化についての関心と理解を深めるために設けられた記念日です。神奈川県立図書館では、文字や活字に興味を持っていただけるような講演会を毎年開催しています。

アクセス

J R・市営地下鉄 桜木町駅より徒歩 10 分

京浜急行線 日ノ出町駅より徒歩 13 分

みなとみらい線 みなとみらい駅より徒歩 20 分

図書館開館時間

火～金 9時～19時（毎月第2木曜日は休館）

土・日・祝 9時～17時

（祝・休日の月曜日を含む）

詳しくは図書館HPをご覧ください。

神奈川県立図書館 講座

検索



神奈川県立図書館

〒220-8585

神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘9-2

☎ 045-263-5900（代表）



図書館ホームページ

<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/yokohama/>

図書館ツイッター

https://twitter.com/kanagawa_lib

